

子どもネットワークセンター天気村

(草津市)

のが特徴だ。コミュニケーションを通じて知り合う。

地域活動を充実へ

子どもネットワークセン

タ

ー天気村 1987年結成。

1

小学生以下を対象に自然体験学習などを企画。育児について話し合う子育て支援事業も行っている。草津市東草津1丁目1ノ15、N P O子どもネットワークセンター天気村☎077-(56)4-7868。

大学生ボランティアらと一緒に子どもたちが公園を駆けまわる。歓声につられて見守る地域の人らも思わずほほ笑む。

山田貴子村長(西毛らが企画する野外活動保育や自然体験教室には「薄れていく地域のコミュニティーを取り戻したい」との思いが込められている。

お寺の境内で遊んだり、近くの畑で野菜を育てたり。野外活動はござりふれた内容だが、その際、スタッフや学生ボランティ

アが地域住民に話しかけ、また話しかけられたりする

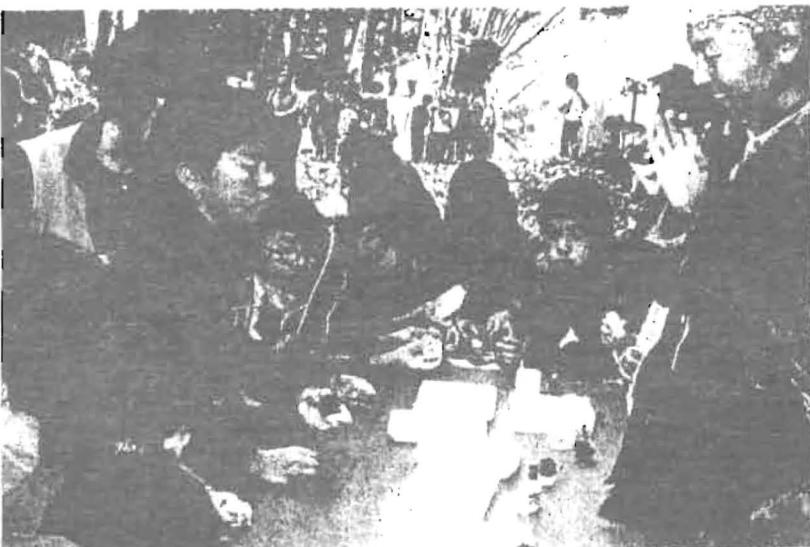
た大人たちが、地域のボランティア活動に積極的に参加するようになったといもが地域活動に参加するき

少年犯罪気になり

当初はダンスや演劇の練習を自由に行うフリースペースだった。が、相次ぐ少年犯罪や子どもの自殺などを聞くにつれ、子どもを取り巻く環境が気になりだした。

(2)

地域活動にエココイン



野外活動で地元とふれあい

「思いっきり外で遊び、喜ぶ子どもの笑顔が、大人や社会を変えるのではない」。屋外の遊びを基本と

つかけづくりとして「エココイン」を作った。地域のイベントや天気村主催の体験教室に参加するとコインがもらえ、全十二種類集め

る。山や川、湖は連携している。そのことを子どもたちと学んでいきます」。山田さんは熱く語る。

野外活動で地域住民らとあれあう子どもたち(近江町のやまんばの森)

二〇〇一年には自然体験教室をさらに充実させた。山や川、湖は連携して、自然をがたちづくつている。そのことを子どもたちと学んでいきます」。キャッチフレーズだけの「ふれあい」ではなく、本当に人や自然にふれあい、学べるよう活動していく

い、学べるよう活動していく

い、学べるよう活動していく